

平成19年度 事務事業評価表		担当	建設部 土木課				内線等	2264
事務事業名	舗装整備事業					事業コード	3. 建設事業(ハード事業)	
根拠法令等	道路法					A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	2. 快適でやすらぎのあるまちづくり	施策名	道路
------	--------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市道全般に対して
手 段	老朽化した舗装を整備することにより
想定する成果	道路の通行の安全を図る

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
事業費	45,247千円	38,406千円	62,650千円
舗装面積	10,541㎡	8,936㎡	10,940㎡
施工箇所	34箇所	34箇所	16箇所

成果指標

成果指標名	地区要望実施率	1㎡当り事業費
成果指標の説明	実施箇所数 / 要望件数 × 100	総事業費 / 施工面積

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		68%				70%				73%			
成果指標		4,599円				4,573円				5,978円			
事業費	事業費	45,247				38,406				62,650			
	人件費	3,231				2,461				2,746			
	(人数)	正規	0.4	非常勤	0.05	正規	0.3	非常勤	0.05	正規	0.35	非常勤	
	合計	48,478				40,867				65,396			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	48,478				40,867				65,396			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	地元の要望に対して約70%の実施率である
経済効率性	3	3	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	11	11	11	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	総合計画「施策」の達成に非常に効果がある
合計	14	11	14	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	近年、車両の大型化に伴い舗装の痛みが激しく特に幹線道路の沿線では、騒音・振動が多く発生しているため舗装整備事業の必要性が増えている
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
舗装沈下の要因として占用物件(水道、下水道等)の埋設が原因であると思われる箇所がある、この場合は占有者で復旧するように指導していく
上記改善点の実施状況
舗装の沈下の現場確認時に地下埋設物の調査も行い、占有物件がある場合は占有者に復旧してもらっている

今後さらに改善すべき点

平成21年度予算に反映する項目

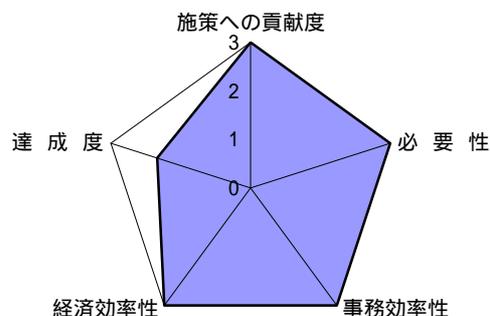
各総代区より要望により工事を施工しているが、側溝整備事業と合わせて最低でも1地区1事業の予算確保

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点